

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	人・地域の活力を再生するスポーツコミュニティフェアの開催		担当部局庁	文部科学省		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	スポーツ振興課		作成責任者	嶋倉 剛	
会計区分	一般会計		施策名	XII-2 生涯スポーツ社会の実現				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	スポーツ基本法第2条		関係する計画、通知等	復興の基本計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	スポーツを親しむ被災地の人々が一堂に会し、地域で日常的に取り組むスポーツ活動の実践の場としての交流大会や講演、シンポジウム等を開催することを通じて、スポーツ活動への参加の促進と、他の被災地との連帯感を生み出すことで、一層の復興を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツコミュニティフェアの開催 (1)有識者による基調講演等の実施 (2)シンポジウム・分科会の実施 (3)交流大会等の開催 							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	83.8
		補正予算						
		繰越し等						
		計						83.8
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値(32年度)
	東日本大震災で被災した地域について、スポーツによる復興を行うことを目的としており、成果目標を定量化することは困難である。			達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績(当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	スポーツ活動の実践・発表の場として各種交流大会を実施するとともに、子どもから高齢者まで幅広い層が気軽に参加できるスポーツ体験教室を実施する。			箇所			()	※24年度の活動見込である (1)
単位当たりコスト	83.8百万円(円/箇所)		算出根拠	単位当たりのコスト=平成24年度概算要求額83.8百万円/実施箇所数1県				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	-	0.4百万円	【東日本大震災復興関連事業 要求額83.8百万円】				
	スポーツ振興事業委託費	-	83.4百万円					
計		83.8百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・23年8月に施行された「スポーツ基本法」や22年8月に文部科学省が策定した「スポーツ立国戦略」、また過去の事業仕分けの結果や横断的な見直し基準等を踏まえ、文部科学省として地域スポーツの振興や地域スポーツとトップスポーツの好循環をどのように推進していくかを検討した上で、本事業を24年度概算要求するものである。</p> <p>・本事業は、東日本大震災で被災した地域について、スポーツによる復興を行うことを目的としており、被災した地域で交流大会等を開催することで、スポーツ活動への参加の促進と、他の被災地との連帯感を生み出すという点で、効果的な事業である。</p> <p>・子どもから高齢者まで幅広い層が気軽に参加できるスポーツ体験教室を実施する等、広く国民のニーズに応えるものとしている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、定量的な成果目標を立てることは困難であるが、事業効果について適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることから、当省の事業として実施することが必要と認められる。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>東日本大震災からの復興の基本方針(抜粋)</p> <p>5 復興施策</p> <p>(2) 地域における暮らしの再生</p> <p>● 地域におけるスポーツ活動を促進する</p>			

文部科学省
83.8百万円

・職員旅費 0.4百万円を含む

〔地域で日常的に取り組むスポーツ活動の実践の場としての交流大会や講演、シンポジウム等を開催することを通じて、スポーツ活動への参加の促進と、他の被災地との連帯感を生み出すことで、一層の復興を図る。〕



【公募・委託】

A. 都道府県
83.4百万円

〔 スポーツフェアの開催 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A.都道府県			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
印刷製本費	チラシ、ポスター、プログラム作成等	27.5			
諸謝金	指導謝金、講師謝金等	22.9			
旅費	講師旅費、指導者旅費等	11.3			
借損料	会場借料等	10.6			
雑役務費	会場設営等	4.7			
賃金	事業事務補助者等	4.7			
その他	会議費、通信運搬費等	1.7			
計		83.4	計		0
C.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.0	計		0
D.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)